



渡部さんの大切なもの
1 勉強
2 友人
3 家族

ショールームのキッチンで説明する渡部桂さん

case.2 仕事のやりがいを追求する

今は前例のないことへの挑戦が楽しい

渡部桂さん(わたなべけい・29歳)

住宅メーカー、パナホーム(本社・豊中市)海外事業推進部の渡部桂さん(29歳)は、子どもの頃から「建物」に興味があった。「新聞に折り込まれるマンションなどのチラシの間取り図を見るのが好きで、おもちゃの人形の家を上から眺めたりしていました」。

2011年の入社時は、大阪支社設計部で、住宅の設計図面の作成などを担当。一昨年初秋、アジアでの住宅建設を担当する海外事業推進部の社内公募に応募し、ほかの2人のメンバーとともに採用された。

海外拠点は台湾、マレーシアにある。渡部さんらはインドネシア進出のために1カ月間、首都ジャカルタに滞在。分譲地を訪れたり建築資材を検討したりと、慣れない土地での仕事は多岐にわたった。英語を基本に、インドネシア語は通訳を介する。

「これまで、わからないことは先輩に教えてもらいましたが、今は誰に聞けばいいのかもわからない状態です。だからこそ、誰もやっていないことに挑戦する魅力があるし、やりがいを感じます」。

その後も月に1度のペースで行き来する。旅行で訪れるのとは違い、仕事のプレッシャーでおなかを壊したこともある。

宗教や生活様式が違えば、住宅も変わる。大邸宅でなくともトイレは1部屋に1つ。「祈り」のため、頭と足を水で清める必要があるからだという。「行って初めてわかることばかりです」。

グローバルな活躍がますます期待されるが、「自分がやりたいことを進めていだけ」と気負いはない。将来は「結婚はしたい。でも仕事は続けていきたいです」。



海外展開する住宅試作棟の模範をチームで検討中



マレーシアで、来訪者に住宅試作棟の説明をする渡部さん



取材担当

プライベートも充実してこそ働く人間の理想像

キャリアを追求することには犠牲も伴うと思っていたが、渡部さんは週末の旅行で気分転換をするなどプライベートも満喫している。仕事も充実していて、働く人間の理想像だと感じた。(増井秀樹)

豊中市の施策

■仕事と生活の両立を応援

豊中市では仕事と生活がバランスよく調和した、その人らしい人生を送るための考え方や取り組みを応援しています。子育て中の人のための講座や、企業への出前講座を行っています。

豊中市 ワーク・ライフ・バランス 検索

■豊中から世界につながる

とよなか国際交流センターでは、多様な文化を背景に持つ人々がいきいきと暮らせる社会(多文化共生社会)を推進するため、地域や学校と連携して活動しています。国際交流関連図書も置いています。

とよなか国際交流センター Tel.06-6843-4343



妻の樹里さんと2人、仲良く店に立つ

case.3 技で生きる

好きな仕事で生活できる幸せかみしめて

番場亮さん(ばんばりょう・40歳)



番場さんの大切なもの
1 時間
2 家族・友人
3 健康

夕方の営業に向け、そばを打つ番場亮さん

昨秋、そば店「ばんばそば」を服部天神駅前にオープンさせた番場亮さん(40歳)は元大手広告会社の営業マン。誰もが知る大企業のプロジェクトを担当していた。「高校時代から広告マンになるのが夢で、やりがいも達成感もあった。でも、徹夜、泊まり込みは当たり前の超多忙な日々。いつまで続けられるか、不安が大きくなっていきました」。

仕事柄、おいしいものを食べる機会が多い中で、すし、そば、天ぷらといった和食の魅力を再認識するようになっていく。「自分の店を持ちたい」という夢が膨らみ、35歳で思い切って退職した。

山形生まれ・豊中育ち。幼い頃からそばに慣れ親しんで育った亮さん。妻・樹里さん(35歳)もそばどころ、奥出雲の出身だ。そんな縁も感じて、そば職人の道へ。そば道場へ通いながら大阪市内の店で修業した。「2年半は皿洗いばかり。1日15時間365日の皿洗いはさすがに心が折れそうになりました」。しかし自分で決めた道に迷いはなかった。

「そばは知れば知るほど奥が深い」と自ら休業期間を延ばし、開店まで5年を費やした。一番大変だったのは資金集めだったという。「オープン初日は、やっとスタートだと腹が据わりました」。カウンターとテーブル、全12席の小さな店。各地の日本酒や、そばに合う一品料理も提供する。「朝6時に起きて寝るのが翌朝3時になることも。あれ、勤めてるときより忙しいんじゃないか?と思いました」と笑う。それでも「好きなことを仕事にして生活できることが幸せ」と、心を込めてそばを打つ。



取材担当

つらさを楽しみに変えることが大事

番場さんの毎日は充実感にあふれている。「仕事はつらいこともあるが、その中の楽しさも知っているから頑張れる。つらさを楽しみに変えることが大事」。子ども・大人関係なく大切にしたいんだと思う。(永易 悠)



取材担当

「本当にやりたいこと、途中で変わってもいい」

やりたいことが見つかるのはいつだろう。今やりたいことを一生続けるか、番場さんのように仕事をやめて新たなことを始めるか…。時間の制限はあるが、まだ大丈夫。今はまだいろいろ試せる時だ。(石田文弥)

豊中市の施策

■起業・創業をサポートします!

起業・創業の準備を効果的なタイミングで支援するため、豊中市では豊中商工会議所、日本政策金融公庫十三支店、とよなか起業・チャレンジセンターと連携し、「とよなか創業ナビ」を運営し、各種相談対応などを行っています。